

## 2022年度 JTU 中国ブロック協議会総会 議事録

■日時 2022年4月9日(土) 13:00~17:00

■会議形式 インターネット WEB 会議 (zoom)

■出席者 約25名

### ■内容

1. 公益社団法人日本トライアスロン連合 岩城光英会長よりご挨拶
2. 公益社団法人日本トライアスロン連合 大塚眞一郎専務理事より情報提供及び事前アンケートに関する説明

### 【総会議題】

#### ◇審議結果報告 1号~5号議案について

- 1号: 2021年度ブロック事業報告
- 1-2号: 2021年度ブロック(理事)活動報告
- 2号: 2022年度ブロック事業計画
- 3号: 2021年度ブロック会計報告
- 4号: 2022年度ブロック事業予算計画
- 5号: 専門委員変更報告

#### ◇各専門委員会報告

- 1) 技術審判委員会
- 2) 中国ブロックオンライン講習会開催報告
- 3) 強化委員会
- 4) 指導者養成委員会・国体委員会
- 5) NTT 西日本社会貢献事業活用状況について
- 6) J-STAR プロジェクトの取り組みについて
- 7) 中国ブロック zoom 活用状況について

### ■議事録

13時 JTU 中国ブロック理事大野会長より開会のあいさつ

13時05分 JTU 日本トライアスロン連合岩城会長より開催にあたり挨拶と、ウクライナ支援、取り組みについて、及び東京オリンピック・パラリンピックへの協力、ブロック活動へのお礼と共に、地域活動が事業の大きな柱となってきた現状と、今年度のJTUの取り組みについて話があった。今後、「健康スポーツトライアスロン」として、普及活動に力を入れていくとの言葉があった。その後、退室。

13時10分 JTU 大塚専務理事より東京オリンピック・パラリンピックの報告と、パリオリンピックへ繋がる大会であり「成長・変化、そして進化」の大会であったとの話があった。

またJTUとしても「SDGs」を実践し、環境などに配慮した運動として認めていただけるよう今後も活動していくとの事であった。

続いて、事前アンケートの回答（事前送信済み）について、詳細と追加説明があったが、個別に追加質問があれば対応していただけるとのことだった。

14時20分 総会議案に入り、大野理事より事前の書類審議により第1号から5号議案全てに対し理事15名より承認を頂いたとの報告があった。

また、事業内容の詳細についても、説明があった。

14時50分より10分間の休憩

15時00分 各専門委員会報告に入った。

- (1) 技術審判委員会 芳谷技術委員よりオンラインでの審判ミーティングを開催し、大会がない中でも、その都度情報の共有をおこなっていくとの話があった。
- (2) 島根県トライアスロン協会大内より、中国ブロックでおこなったオンライン講習会について、実施報告と今後、継続的に行うかなどの課題もあり、次回開催までに検討していくことになった。
- (3) 強化委員会小原委員の代理として、広島県協会長崎委員より強化合宿の実施報告と今年度の予定について説明があった。  
また、「アスリートパスウェイシステム」についての説明があった。リージョナルリーダーとして小原委員が選任されているが、アシスタントコーチとして長崎委員にも可能な限り帯同していただくことになった。
- (4) 指導者養成委員会・国体委員会 母里委員より指導者養成の現状と今後の講習会開催等についての説明があった。国体予選にあたる、「さくらおろち湖SP大会」についても開催の方向で協議しているとの報告と協力依頼があった。
- (5) 大野理事より、NTT 支援事業活用状況についてと、申請方法の変更について説明があった。

(6) J-STAR プロジェクトについて、広島県協会北村理事長より説明があった。

(7) 池田理事より、中国ブロック ZOOM 活用状況について報告があった。

15時50分 岸田常務理事より閉会の挨拶として、今後もノウハウを共有し財産として活かしていこう。そして、地域と連携を取りながらトライアスロンを盛り上げよう！との激励があった。

16時05分岡山県トライアスロン協会繁田会長より総評をいただき、16時15分総会を閉会した。

=以上=